

第3回ノビレチン研究会 プログラム 12月14日(土)

講演会場 (13411教室)		ポスター会場	
12:00-12:30	幹事会	12:00-12:50 ポスター掲示	
13:00	12:50-13:00 開会式 森本 達也 会長 矢澤 一良 研究会会長	ポスター閲覧	
	13:00-13:30 招待講演 『古代日本人とノビレチン』 小鍋 彰久 (マコジャパン株式会社)		
13:30	13:30-14:20 シンポジウム1 『ノビレチン絡みの柑橘類関連商品の産学連携による開発事例』 菅原 卓也 (愛媛大学農学部 動物細胞工学教育分野 教授) 禹 濟泰 (中部大学応用生物科学科 教授)		
	14:00		
14:30			14:20-15:10 ポスター発表
15:00			
15:10-15:20 総会 矢澤一良 会長			
15:30	15:20-16:20 シンポジウム2 『ノビレチン研究最前線1』 『カンキツ果実におけるノビレチン含量の季節変動およびその生合成機構』 加藤 雅也 (静岡大学農学部生物資源科学科 教授) 『ノビレチンデメチル誘導体の網羅的合成』 稲井 誠 (静岡県立大学薬学部医薬品製造化学分野 講師) 『イオン液体を用いたノビレチンの経皮輸送』 岩尾 康範 (静岡県立大学薬学部 客員准教授)		ポスター閲覧
	16:00		
16:30	16:20-16:30 小休憩(10分)		
17:00	16:30-17:50 シンポジウム2 『ノビレチン研究最前線2』 『更年期モデルラットが示すうつ様行動や記憶能低下に 対するノビレチンの改善効果』 南 彰 (静岡県立大学薬学部生化学分野 講師) 『 β 細胞機能に対するノビレチンの抗糖尿病活性効果の検討』 金子 雪子 (静岡県立大学薬学部薬理学分野 講師) 『ポリメトキシフラボノイドであるノビレチンの心不全進行抑制 及びその作用機序の解明』 砂川 陽一 (静岡県立大学薬学部分子病態学分野 助教) 『細胞代謝の観点からみた、ポリメトキシフラボノイド(PMF)の熱中症予防研究』 加藤和則 (東洋大学理工学部生体医工学科 教授)		
	17:30		
18:00	17:50-18:25 特別講演 『人生100年時代における薬と機能性食品の併用の現状と課題』 山田 静雄 (静岡県立大学大学院薬食研究推進センター長)		
18:30	18:25-18:30 閉会式 森本 達也 会長 ポスター賞発表 矢澤 一良 会長	ポスター撤去	
19:00	19:00-20:30 懇親会(ぶどうの丘)		